

目次、編集方針

目次

会社概要 2

めざす姿 3

- 大切にする価値観
- JR西日本グループの価値創造に向けて

トップメッセージ 7

- 社長メッセージ
- 鼎談 イノベーションの創出
- 「JR西日本技術ビジョン」が描く未来

安全で安心、信頼していただける
鉄道の構築 15

- 福知山線列車事故を原点とした安全性向上
- 「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022」の着実な遂行

めざす未来に向けた価値創造の戦略
～「JR西日本グループ中期経営計画2022」～ 25

価値創造を支える基盤 35

- 地球環境
- 人財・働きがい
- 人権
- コーポレート・ガバナンス

財務データ 49

当社グループの事業



■ 運輸業 鉄道事業、バス事業、船舶事業



■ 流通業 物販・飲食業、百貨店業など



■ 不動産業 ショッピングセンター運営業、不動産賃貸・販売業



■ その他 ホテル業、旅行業、工事業など

編集方針

本レポートは、JR西日本グループにおけるさまざまな取り組みとそれがもたらす価値についてお伝えし、多様なステークホルダーの皆様とコミュニケーションを図ることを目的として発行しています。なお、掲載情報は、特にお伝えしたい内容を抽出し掲載しているため、取り組みの全体については当社ウェブサイト内の各ページをご覧ください。

見通しに関する注意事項

このレポートでは、JR西日本の事業、産業および世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明には、さまざまなリスクや不確かさがつきまといっています。通常、このような将来への展望に関する表明には、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、またはこれらに類似する、将来のことを表現する言葉が用いられています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、またはその他の将来の展望について述べています。既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄と大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともあります。実際の結果を予想と大いに異なるものとする重要なリスクおよび要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。

- ・ 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
- ・ 経済の悪化、デフレおよび人口の減少
- ・ 日本の法律、規則および政府の方針の当社にとって不利益となる変更
- ・ 旅客鉄道会社および航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引き下げおよびその他の戦略
- ・ 感染症の発生・流行
- ・ 地震およびその他の自然災害のリスクおよび情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害

このレポートに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、JR西日本に利用可能な情報に基づいて2021年9月末現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

WEST EXPRESS 銀河

西日本エリアの魅力発信と地域の活性化を目的として運行を開始。旅をお楽しみいただけるよう、沿線の皆さまとともに、魅力ある特産品の販売や伝統芸能の披露など、車内外でのさまざまなおもてなしを実施しています。西日本エリアの魅力的な地域を結び、これまでに、京阪神から山陰コース、山陽コースを運転してきました。2021年7月からは、食・文化・自然など多様な魅力にあふれた紀南コースの運行を開始しています。紀勢本線湯川駅(表紙写真)では、この列車の運行をきっかけに、和歌山大学・那智勝浦町役場・土地所有者の皆さまと当社が協働で景観改善に取り組み、美しい湾を望むことができるようになりました。

会社概要

当社は世界有数の経済圏を誇る関西エリアをカバーし、瀬戸内エリアなど観光資源が豊富なエリアを有しています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、当社グループを取り巻く環境は大きく変化していますが、これを変革のチャンスととらえ、スピード感をもって、構造改革や豊富な資源を活用した需要創出に取り組み、グループ一体となって中長期的な企業価値向上に努めています。

